

創造力チーム

鹿骨東小学校では、子供たちの心をゆさぶる体験活動に数多く取り組んでいます。ふるさと学習では地域の自然や伝統に直接触れ、SDGs 活動では自分が良いと思ったことに進んで活動しています。「人の役に立つ」体験ややりがいは、子供たちの自己肯定感や自己有用感を高め、主体性を育てています。

本物に触れる体験、ふるさと学習

地域の方をお招きして、地域の伝統工芸や技術を学びます。本物に触れる体験活動を行うことで、地域や伝統を愛する心を育みます。

- 1年生→和凧づくり、朝顔学習、ポニーの試乗
- 2年生→花の寄せ植え、ヤゴトープ
- 3年生→組子コースターづくり、アゲハ、ギンヤンマの飼育
- 4年生→江戸扇子づくり、篠崎公園ネイチャープログラム、落語
- 5年生→しめ縄づくり、米プロジェクト（田植え、稲刈り、脱穀、炊飯）雅楽
- 6年生→江戸風鈴色付け体験、SDG s 活動、能・狂言



2年生 花の寄せ植え



4年生 江戸扇子づくり



5年生 しめ縄づくり

自分たちにできることを考え、実践しよう

SDGs について調べたり学んだりしたことをもとに、今の自分たちにできることを考えて実践しています。目標14「海の豊かさを守ろう」のために、身近な親水緑道の清掃を行いました。

また、SDGs についての学習を進める中で、世界にはたくさんの貧しい国があることを知り「自分たちにできること」を考えて SDG s 活動を行っています。また最近では、「能登半島地震募金」「ガザ緊急募金」など子供たちからの自主的な募金活動も行っています。



親水緑道清掃



SDGs 募金



屋上緑化

気仙沼小学校、大杉東小学校とのオンライン交流・環境マスター

6年生は総合学習の一環として、宮城県の気仙沼小学校、江戸川区の大杉第二小学校とオンライン交流を行っています。自分の学校の紹介や、SDG sについて調べたことを伝え合いました。交流によって、他校がどのような活動をしているのか知ることができ、良い刺激になっています。中でも気仙沼小学校は、海に近くたくさんの海の恵みを受けている学校です。また、「海と共に生きる」をテーマに、防災の学習も行っています。実際にそこで生活している児童の話聞くことで、視野が広がり、さらに「自分たちにできること」を考える中で、豊かな創造力を養うことができます。

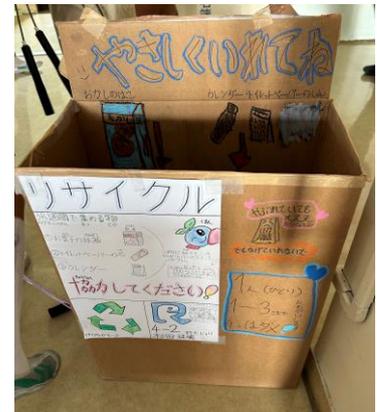
また、令和5年度の学習発表会では、環境マスターの活動を行いました。SDG sについて調べたり学んだりしたことを活かして、全校児童が環境問題に興味をもってもらえるようクイズを作成しました。学校中にスタンプラリーとして掲示し、クイズに全問正解できた児童はバッジを貰えます。多くの児童がクイズを通して、今起きている環境問題に目を向けることができました。



オンライン交流の様子



環境マスター



4年生が自主的に作ったリサイクルボックス

ベトナムの小学校へ、スピーカー・大型テントと大型テレビを寄贈

令和4年度と5年度の6年生は、SDG s 募金の一貫としてベトナムのフック・ソン小学校にスピーカーとテントを寄贈することができました。それぞれ2学期の道徳地区公開講座で、NPO 法人 CSR スクエアーの代表である宍戸仙助先生をお招きし、「人の役に立つ人間になるために」についてお話をいただきました。宍戸先生のご講演を聴いて、ベトナムやラオスの子どもたちが非常に厳しい生活を強いられているということや、貧しくても瞳を輝かせて学ぶアジアの子供たちがいることを知った本校の6年生に、「人の役に立ちたい」という思いが芽生えました。

そこから、SDG s 募金をしたいという声が上がりました。約2週間募金活動呼びかけ、43,428円にもなりました。(令和5年度) こうして集まったお金を宍戸先生にお渡しし、ベトナムの小学校へ大型テレビを届けることができました。これらの活動を通して、自分たちにも誰かの役に立つことができたという達成感を感じ、児童の自己肯定感や自己有用感を高めることができています。



ベトナムからのお礼のメッセージ



ベトナムとのオンライン交流の様子